

広島大学 病院輸血部 2015 年業績

1) 論文 (査読あり)

- 1) 藤井宝恵, 古賀彩香, 石川茉莉子, 笹木忍, 井上雅美, 小林正夫, 宮腰由紀子, 藤井輝久 血友病患者の母親支援に関するニーズ調査. 日本遺伝看護学雑誌. 13(2)83-90, 2015.
- 2) Lalezari S, Fujii T, Kwong YL, Delesen H, Shah A, Tućckmantel C, van Heerde W and Enriquez MM. Leopold trial results: correlation of von willebrand factor antigen level with bay 81-8973 pharmacokinetic parameters of patients with severe hemophilia A. J Thromb Haemst 13(supl)9-10, 2015.
- 3) T.Fujii, T.Fujii, S Saito, N. Yamasaki. Efficacy of secondary prophylaxis on annual bleeding ratio (ABR) in adult patients with hemophilia:a single center observation study in Japan. J Thromb Haemst 13(supl)346, 2015.
- 4) Fujii T, Murakami A, Fujii T and Miyakoshi Y. Barriers to inform hemophilic carriers of that possibility in Japan. J Thromb Haemst 13(supl)349, 2015.

2) 学会発表

- 1) 藤井輝久、山崎尚也、齊藤誠司、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、小川良子、木平健治、高田昇: 広島大学病院におけるエイズ患者の発病時の年齢と CD4 数, CD8 数, ウイルス量との関連. 第 89 回日本感染症学会総会・学術講演会. 2015 年 4 月. 京都
- 2) 齊藤誠司、山崎尚也、藤井輝久、小川良子、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、木平健治、高田昇、大毛宏喜: 広島大学病院における高齢 HIV 感染者がかかえる合併症に関する検討. 第 89 回日本感染症学会総会・学術講演会. 2015 年 4 月. 京都
- 3) 野間慎尋, 平岡朝子, 河野真由, 小松真由美, 山岡愛子, 栗田絵美, 廣瀬祥子, 大崎千津子, 山崎尚也, 齊藤誠司, 藤井輝久. 広島大学病院における待機手術準備血と術前 T&S の実施状況. 第 63 回日本輸血・細胞治療学会総会、京都、2015 年 4 月.
- 4) 山崎尚也, 藤井輝久, 齊藤誠司, 大崎千津子, 栗田絵美, 河野真由, 小松真由美, 野間慎尋, 平岡朝子, 広瀬祥子, 矢内綾佳, 山岡愛子. 血液内科における鉄過剰状態への注意喚起のタイミング. 第 63 回日本輸血・細胞治療学会総会、京都、2015 年 4 月.
- 5) 藤井輝久、清水力、和田秀穂、室井一男、松下正、大戸斉、半田誠、高橋孝喜. 大学病院輸血部門の医師・看護師の配置とその教育の問題～全国大学病院輸血部会議教員向けアンケート結果より～. 第 63 回日本輸血・細胞治療学会総会、京都、2015 年 4 月.
- 6) 藤田啓子、藤井健司、畝井浩子、藤井輝久、齊藤誠司、山崎尚也、高田昇、木平健治: 広島大学病院における抗 HIV 療法のレジメン変更状況その 2～キードラッ

- グについて～. 第 89 回日本感染症学会総会・学術講演会. 2015 年 4 月. 京都
- 7) 重見麗、蜂谷敦子、松田昌和、今村淳治、渡邊綱正、健山正男、今村顕史、柳澤邦雄、矢野邦夫、藤井輝久、上田敦久、横幕能行、杉浦互、岩谷靖雅:HIV-1 感染急性期における病勢特異的な血中バイオマーカーの探索. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
 - 8) 城下由衣、小川良子、池田有里、木下一枝、藤井輝久、齊藤誠司、山崎尚也、喜花伸子、浅井いづみ、金崎慶大、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、高田昇:HIV/AIDS 不定期受診患者の傾向と効果的な受診継続支援の検討. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
 - 9) 浅井いづみ、喜花伸子、齊藤誠司、山崎尚也、小川良子、木下一枝、池田有里、城下由衣、金崎慶大、藤井輝久、高田昇:広島大学病院における HIV 感染患者に対するカウンセリング介入の現状と課題ー受診行動と精神科受診歴との関連からー. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
 - 10) 齊藤誠司、山崎尚也、藤井輝久、城下由衣、小川良子、池田有里、浅井いづみ、喜花伸子、金崎慶大、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、高田昇:広島大学病院における HIV 感染者が抱える精神疾患と受診行動への影響. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
 - 11) 岡崎玲子、蜂谷敦子、瀧永博之、渡邊大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南留美、吉田繁、小島洋子、森治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、豊嶋崇徳、伊藤俊広、猪狩英俊、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、西澤雅子、林田庸総、岡慎一、松田昌和、服部純子、重見麗、保坂真澄、横幕能行、中谷安宏、田邊嘉也、白阪琢磨、藤井輝久、高田昇、高田清式、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦互、岩谷靖雅、吉村和久:本邦の新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
 - 12) 藤井輝久、山崎尚也、齊藤誠司、小川良子、池田有里、木下一枝、城下由衣、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、高田昇:Sustained Viral Remission(SVR)後における CD4 数増加に関与する因子の検討. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
 - 13) 山崎尚也、齊藤誠司、藤井輝久、小川良子、池田有里、木下一枝、喜花伸子、浅井いづみ、金崎慶大、城下由衣、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、高田昇:HIV 感染者における骨代謝マーカーと骨量の相関性について. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
 - 14) 岡田美穂、松井加奈子、岩田倫幸、新谷智章、小川良子、池田有里、木下一枝、高田昇、齊藤誠司、山崎尚也、藤井輝久、柴秀樹:広島大学病院における入院 HIV 患者の歯科診療支援. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
 - 15) 新谷智章、山崎尚也、岩田倫幸、齊藤誠司、北川雅恵、小川郁子、岡田美穂、松井加奈子、濱本京子、畝井浩子、藤田啓子、小川良子、木下一枝、池田有里、藤

- 井輝久、柴秀樹:抗 HIV 薬服用患者における口腔環境と味覚機能の評価. 第 29 回エイズ学会学術集会. 2015 年 11 月. 東京
- 16) 齋藤 誠司, 山崎 尚也, 藤井 輝久. VWF 含有第 VIII 因子製剤による活性化に関わるリンパ球表面抗原の発現抑制効果. 第 37 回日本血栓止血学会学術集会. 2015 年 5 月. 甲府
- 17) 萩原 剛, 鈴木 隆史, 備後 真登, 近澤 悠志, 尾形 享一, 藤井 輝久, 齋藤 誠司, 新井 盛大, 福武 勝幸. 先天性第 XIII 因子 A サブユニット欠乏症に対する遺伝子組換え第 XIII 因子製剤の安全性と有効性. 第 37 回日本血栓止血学会学術集会. 2015 年 5 月. 甲府
- 18) 山崎 尚也, 齋藤 誠司, 藤井 輝久. 血友病 B 患者における APTT と第 IX 因子活性の相関性の検討. 2015 年 5 月. 甲府
- 19) Lalezari S, Fujii T, Kwong YL, Delesen H, Shah A, Tućckmantel C, van Heerde W and Enriquez MM. Leopold trial results: correlation of von willebrand factor antigen level with bay 81-8973 pharmacokinetic parameters of patients with severe hemophilia A. XXV Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis. May of 2015, Tronto
- 20) T. Fujii, T. Fujii, S Saito, N. Yamasaki. Efficacy of secondary prophylaxis on annual bleeding ratio (ABR) in adult patients with hemophilia: a single center observation study in Japan. XXV Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis. June of 2015, Tronto
- 21) Fujii T, Murakami A, Fujii T and Miyakoshi Y. Barriers to inform hemophilic carriers of that possibility in Japan. XXV Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis. May of 2015, Tronto
- 22) 平岡 朝子、栗田 絵美、野間慎尋 山岡 愛子、廣瀬 祥子、河野 真由、小松真由美、矢内 綾佳、山崎 尚也、齋藤 誠司、藤井 輝久、白水 隆喜、直原寛、川井信太郎. DSA 陽性患者の HLA 抗体検査において検査法による反応性の解離がみられた一症例. 第 24 回日本組織適合性学会学術集会. 2015 年 9 月. 水戸
- 23) 栗田 絵美、平岡 朝子、河野 真由、山岡 愛子、小松真由美、矢内 綾佳、廣瀬 祥子、野間 慎尋、山崎 尚也、齋藤 誠司、藤井 輝久. 本院における肝移植 DSA 陽性患者の概要. 第 24 回日本組織適合性学会学術集会. 2015 年 9 月. 水戸
- 24) 平岡 朝子、栗田 絵美、野間慎尋 山岡 愛子、廣瀬 祥子、河野 真由、小松真由美、矢内 綾佳、山崎 尚也、齋藤 誠司、藤井 輝久. Rh 陰性患者に大量の Rh 用清潔が輸血されたため Rh 陰性と判定されなかった症例. 第 60 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会. 2015 年 9 月. 高知
- 25) 藤井輝久, 齋藤誠司, 山崎尚也, 廣瀬祥子, 栗田絵美, 山岡愛子, 矢内綾佳, 小松真由美, 河野真由, 野間慎尋, 平岡朝子. 広島大学病院における非溶血性輸血副作用・有害事象の現状とその対応に関する考察. 第 60 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会. 2015 年 9 月. 高知

- 26) Kumi Oshima, Kazutaka Kitaura, Takahiko Miyama, Takakazu Kawase, Tomoko Inoue, Seiko Ishida, Kyohei Yamada, Naoya Yamasaki, Tadasuke Awaya, Moe Okuno, Tetsumi Yoshida, Seiji Saito, Yoshiaki Kuroda, Sayaka Sugihara, Jun Imagawa, Shinya Katsutani, Keiichiro Mihara, Teruhisa Fujii, Ryuji Suzuki, Tatsuo Ichinohe. Quantitative tracing of T-cell diversity using deep sequencing in a recipient of allogeneic HCT. 第77回日本血液学会学術集会. 2015年10月. 金沢
- 27) Naoya Yamasaki, Seiji Saito, Teruhisa Fujii. Correlation between factor VIII activity and APTT in patients with hemophilia A. 第77回日本血液学会学術集会. 2015年10月. 金沢
- 28) Teruhisa Fujii, Noya Yamasaki, Seiji Saito. Efficacy of secondary prophylaxis and consideration of the factors in adult patients with hemophilia. 第77回日本血液学会学術集会. 2015年10月. 金沢
- 29) Naoya Yamasaki, Seiji Saito, Teruhisa Fujii. Correlation between factor VIII or IX activity and APTT in patients with hemophilia patients. East Asia Hemophilia Forum. 2015年11月. 奈良
- 30) 河野真由、平岡朝子、栗田絵美、野間慎尋、広瀬祥子、小松真由美、山岡愛子、矢内綾佳、山崎尚也、齊藤誠司、藤井輝久. 当院の臓器移植関連検査について. 第32回広島県医学検査学会. 2015年2月. 広島

3) 著書・雑誌投稿など

- 1) 藤井輝久. 日常臨床における薬物動態測定の実際. 血液フロンティア. 25(7)1011-1017.

4) ISO ○○××取得（検査部、病理部と共同）

*他施設・他部門と共同の場合は、下線が輸血部職員。